

エアコン設置 着々進む

室蘭太平洋病院(印宮副院長)は、患者や職員の環境改善を図るため、全病室などにエアコンの設置を進めている。一昨年に続いて今年も2期工事を行っており、今月中に約80台の設置が終わる見通しだ。

(石川昌希)

近年、夏の気温が高くなり、2、4人部屋に各1台ずつ設置する。リハビリテーションセンターや検査室、職員食堂などにも取り付け、患者や職員が過ごしやすい空間を整える。

エアコンの設置は、病院全体の大規模修繕に合わせた取り組み。同院は計210床あ

外壁修繕や屋上の防水なども行っている。全館暖房のため、エアコンの使用は夏場のみとなる。

印宮院長は「日差しがたぐさん入るので、夏場は相当暑くなる。寝ている状態でも暑さにより熱中症となる可能性もあるので、環境を考えて導入を決めた。法人グループの施設についても今後検討していきたい」と話した。

室蘭太平洋病院

全病室、食堂などにも



エアコンの設置を進める室蘭太平洋病院